



あかまつ

夢と志をもち、自らをきりひらくたくましい子ども
まなぶ子 たくましい子 やさしい子
ホームページアドレス <http://www.tomei-svr.jp/~takarae-syo/html/>
メールアドレス takarae-syo@city.tomei.miyagi.jp

令和元年11月28日(木)
発行責任者 校長 山内 晴子
登米市中田町宝江新井田字後田22番地
TEL 34-2144 FAX 34-4313

「宝江っ子の夢を育む学び舎プラン」を振り返って

校長 山内 晴子

「光陰矢の如し」と言われるように時の過ぎるのは早いもので、いよいよ師走となりました。寒さも増してきましたが、放課後の校庭に目をやると、寒さをものもしない子どもたちが、楽しそうに友だちと遊んでいる姿が見られ、心が温かくなってきます。

さて、本校の教育目標を達成するために、学び舎プランとして、『コミュニティ・スクールを主軸とした柔軟・戦略的で地域社会に開かれた学校運営』を進めているところです。コミュニティ・スクールを核とした地域とともにある学校づくりを推進するために、昨年度から4つの提言をいただき、その中の2つを実践しております。

その内の一つ、「提言2 親子・地域一緒にの清掃活動」についてですが、これは環境美化と親子、地域の方々との交流を図る目的で行っているものです。これまでのお便りでもお知らせしてきましたが、子どもたちに中田町地域内の一斉清掃への参加を呼びかけてきました。11月半ばあたりにも一斉清掃があるということ、第2回宝江小学校運営協議会の際に情報としていただいていたので、それを受け、学級担任が子どもたちに参加を呼びかけました。

今回は、8月の清掃活動よりも多くの子どもたちが参加しました。ご家族の方々も子どもたちに声を掛けていただいたおかげと感謝しております。学校と家庭が同じ方向を向いて子どもたちに声をかけたことで、子どもたちの実践につながったようです。

参加した子どもたちの活動感想カードを見ると、様々な視点で振り返っていました。いくつか紹介いたします。

- ◎ お父さんと一緒に参加しました。カンやペットボトルを拾いました。きれいになってうれしかったです。1年 渡邊 そらさん
- ◎ ぼくはおじいちゃんとおじいちゃんとは道路を掃いて、ぼくはゴミを拾いました。いっぱいゴミがあって大変だったけど楽しかったです。3年 及川 翼さん
- ◎ 初めて参加しました。大きなゴミも小さなゴミもたくさんありました。特に、たばこのゴミが多かったです。朝は、寒かったけど十文字地区がきれいになって良かったです。次の清掃にも行きたいなと思いました。4年 五嶋 楓愛さん
- ◎ 袋ごとゴミがポイ捨てされていたり、燃えるゴミや燃えないゴミが捨てられていたので、もっと町を大切にしたいなと思いました。神畑が少しでもきれいになって良かったです。5年 佐々木 蓮月さん
- ◎ プラスチックのごみや空き缶、発泡スチロールなどのゴミがたくさんありました。ゴミ拾いをして地域がきれいになったので良かったです。6年 三浦 和真さん

一人一人の感想を読むと、地域がきれいになって達成感を感じた子、地域を大事にしてほしいという思いをもった子など様々でした。きっとどの子も家族と一緒に活動したことで地域への愛着が深まったのではないかと感じました。

これまで、清掃活動への参加、郷土芸能・館神楽の練習、米作りの活動、地域の方から専門的な話を聞いたことなど、地域の方々から直接学ぶことがたくさんありました。地域の担い手としての自覚が育まれたと感じています。

これからも学校と地域が一体となり「夢と志をもち 自らをきりひらく たくましい子ども」の育成に力を注ぎたいと思います。



地域文化(館神楽)の継承